

高知発イノベーションの種



漁船が集まる土佐湾の黒潮牧場の係留索には⇒



⇒石油由来の炭素繊維が使われています

森づくり市民ワークショップ(R5)において、木材を漁具に使うというアイデアが出されました。セルローズナノファイバーの技術を応用し、黒潮牧場の係留索や浮体を開発すると、数十倍の価値を生みます。



森林鉄道の歴史

野外演奏会

林鉄遺跡、伊尾木洞、道の駅大山をつなぐトレッキングロード

木で"なりわい"を創る「地方創生」

R6 森づくり市民ワークショップでは、流域森づくり構想の一環として、森林公園の再整備案が協議されました。「世界一美しい散歩道」ミルフォードトラックに学び、周辺の観光資源(景観・自然・歴史・文化)と連結する枠組を持たせてはどうでしょうか?

世界の先例を応用
人々が行きたい場所

伊尾木川・安芸川流域

山林新聞

生業のハードルは草との闘い



草との闘いを最小限にする長伐期多間伐施業

高齢化により、作付けしなかった農地の、草刈りの大変さが、高知新聞に掲載されていました。皆伐後の再造林が進まないのも同じ理由で、草との闘いは生業の重要な問題です。

今回の発行所
みなとまちづくり共同体
資料協力

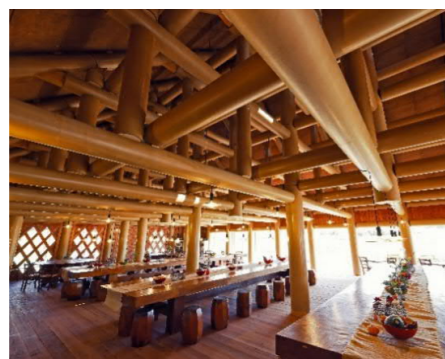


- 今回の配布先
- ・安芸市
 - ・室戸市
 - ・自伐型林業推進協会
 - ・海の森づくり推進協会
 - ・高知県木材協会
 - ・シーベジタブル
 - ・天然資源活用委員会
 - ・フォレストオーシャン
 - ・建設会社
 - ・みなとまちづくり共同体

人工林を相続しても維持できない子孫がいます。山主が人工林を地域課題に対応する建物を社会に提供(経営)することにより、過疎地に生業を創ることを考えませんか。そのためには、木材を居場所として活用するアイデアを出し合い、具体化するワークショップが求められます。



コワーキングスペース



農家・漁師レストラン



子育て世代向け賃貸住宅



移住体験施設



米粉パン喫茶



フットサルカフェ